

DXPの「勝手にDX」提案《概要版》

# バンダイナムコの 「真のDX」

IP共創・知能化プラットフォームへのルールチェンジ提  
案

株式会社DXパートナーズ作成

2026年2月14日



# エンターテインメント業界の構造的変容

## アナログ時代のルール

高品質なコンテンツを開発し、パッケージやダウンロード販売を通じて顧客に届ける直線的なプロセス

## デジタル破壊者の台頭

Amazonのようなプラットフォームが既存の市場ルールを無効化し、ユーザー自身が価値創造の主体となるエコシステムが新たな競争の焦点に

生成AIを前提とした「無選択型」の体験提供が標準となる時代が到来

# バンダイナムコの現状

1.2兆円

売上高

2025年3月期実績

1,802億円

営業利益

極めて高い収益性

35%

海外売上比率

中期目標は50%超

強力なIP戦略により世界有数のキャラクター資産を保有。しかし、この成功は「アナログ時代のルール」を洗練させた「ゲームチェンジ」の成果であり、デジタルを前提とした根本的な「ルールチェンジ」には至っていません。

# 現状維持がもたらす4つの危機

## コスト爆発

AAAタイトルの開発費が指数関数的に増大。ヒット依存型の構造が深化し、財務的ボラティリティが耐え難いレベルに

## 利益の蒸発

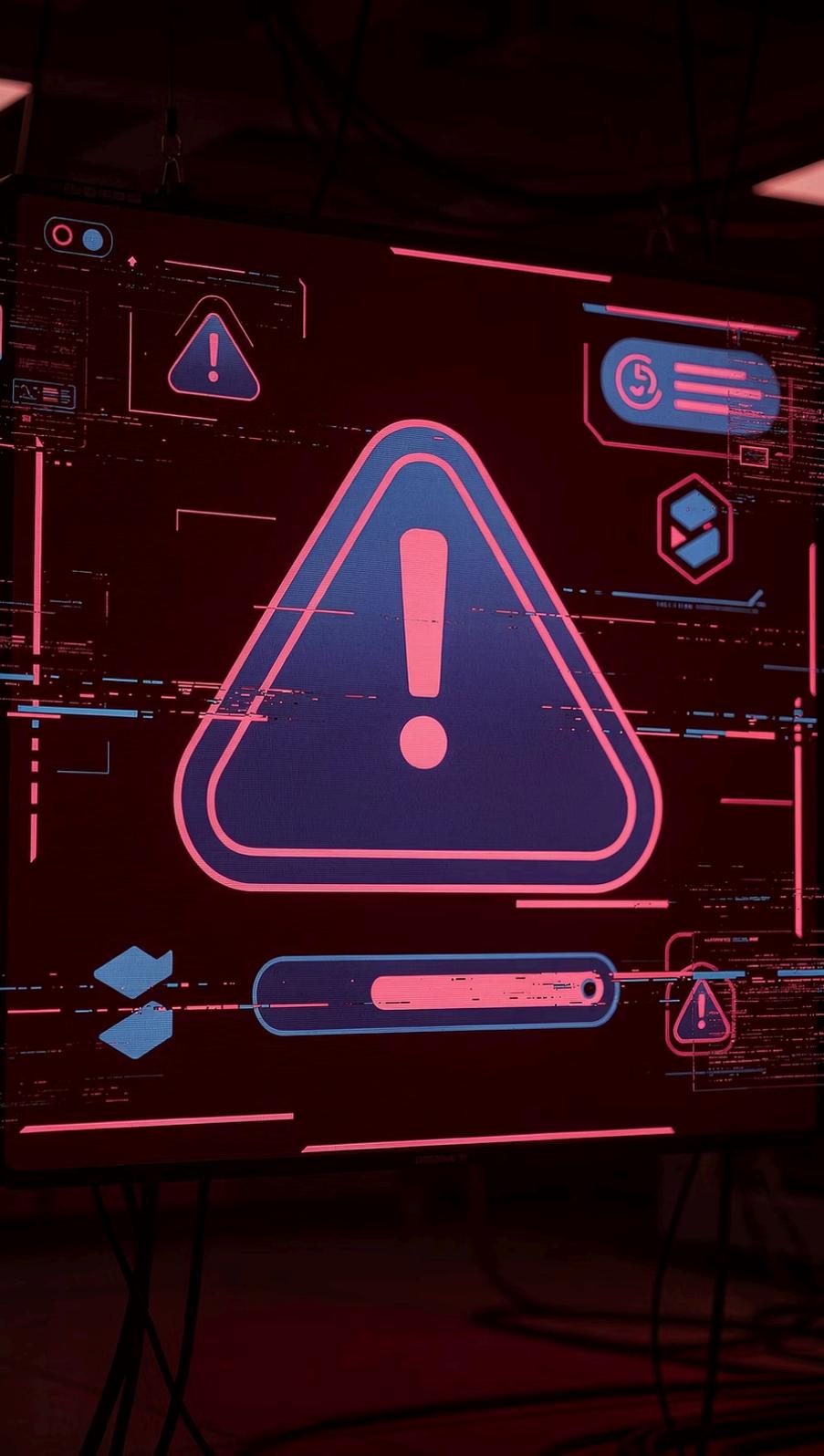
プラットフォーマーに販売チャンネルを握られ、手数料という形で価値を吸い上げられる構造

## コンテンツのコモディティ化

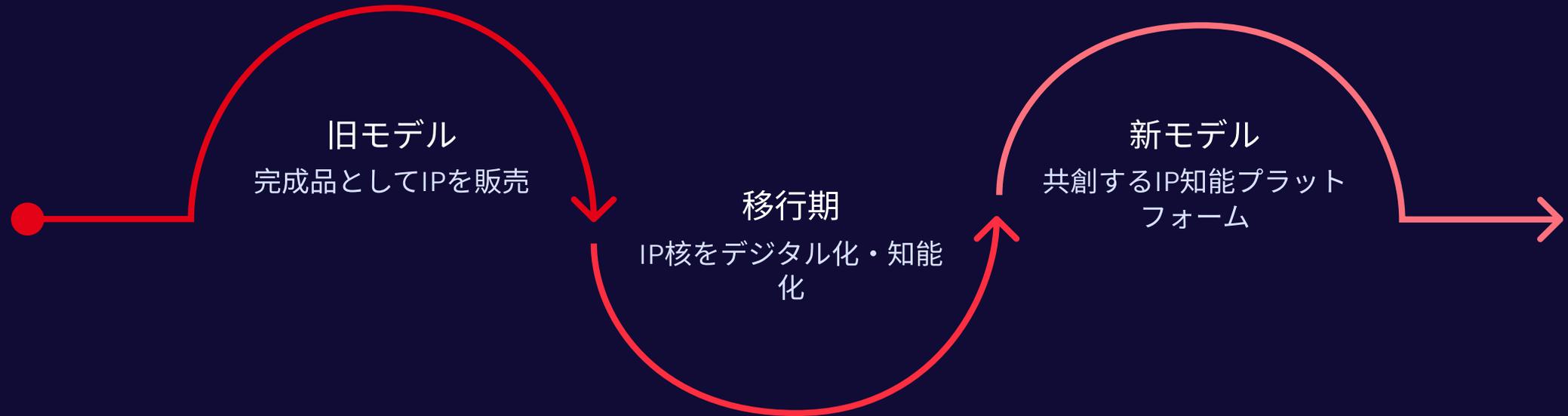
生成AIにより、数年かけた固定的コンテンツが瞬時に陳腐化する可能性

## Amazon Effect

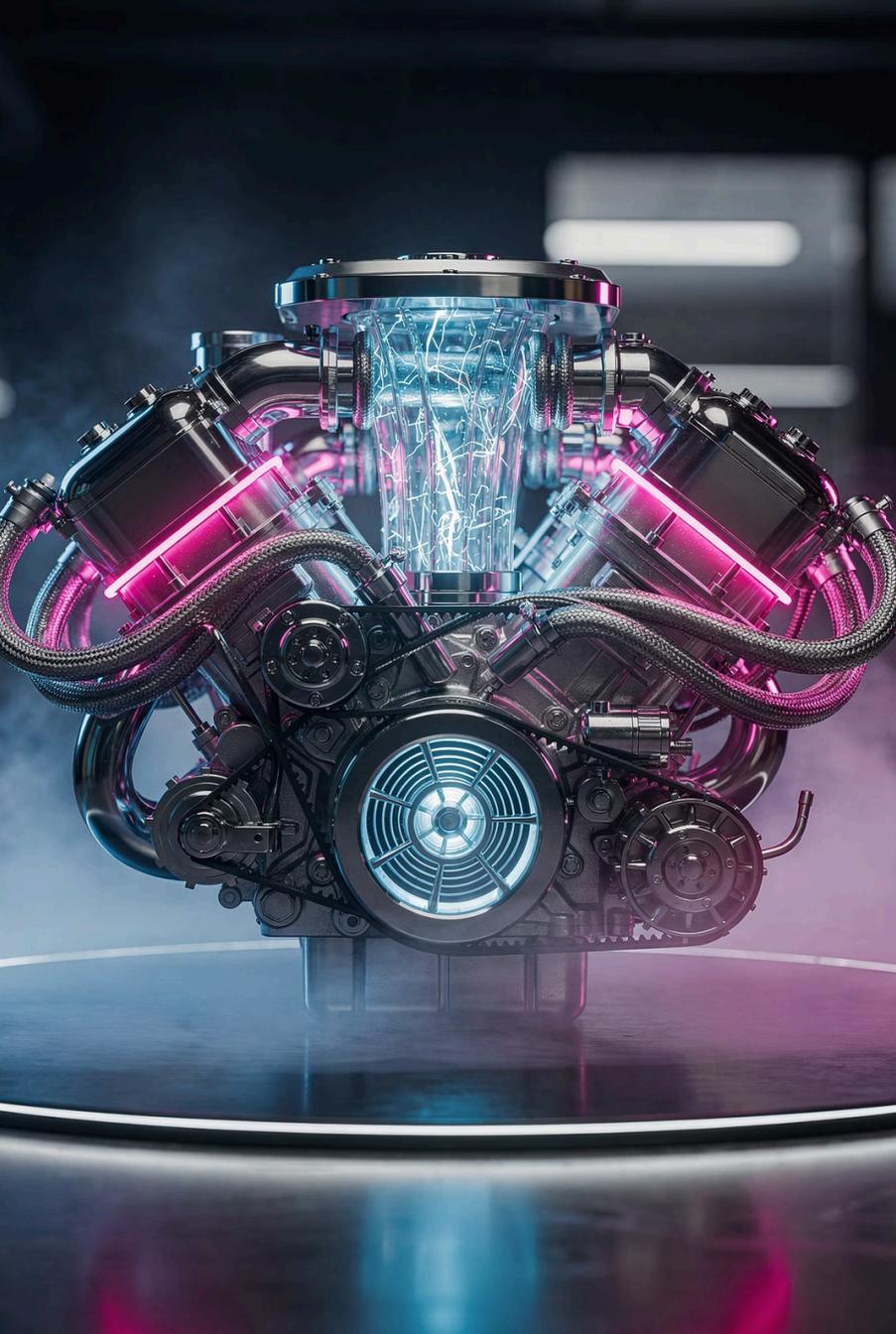
デジタル破壊者が流通と体験を完全支配し、単なる素材供給業者に転落するリスク



# ルールチェンジのコンセプト



「IPを売る」のではなく、「IPを育む『知能』を貸し出す」プラットフォーム提供者へ。IP専用LLM/LMMを基盤とし、ファンが自らのAIエージェントを通じて新しい物語やゲームを即座に生成・共有・取引できる場を創出します。



# 顧客価値創造の「ツインターボ」化



## ターボ1

高速・高頻度な「個客」価値創造。生成AIで個々のユーザーの文脈に合わせた体験をリアルタイム生成



## ターボ2

ネットワーク効果による価値増幅。ファンが生成したUGCが新たなファンを呼び、データがIPのコアを豊かに

# IP Universe Foundry

デジタル時代のビジネスモデル



## 価値提供者

ファンクリエイター、インディー開発者、AIプロンプトエンジニア、公式制作チーム



## 価値享受者

全世界のIPファン、自分専用の体験を求めるユーザー、AIエージェント所有者



## 価値変換

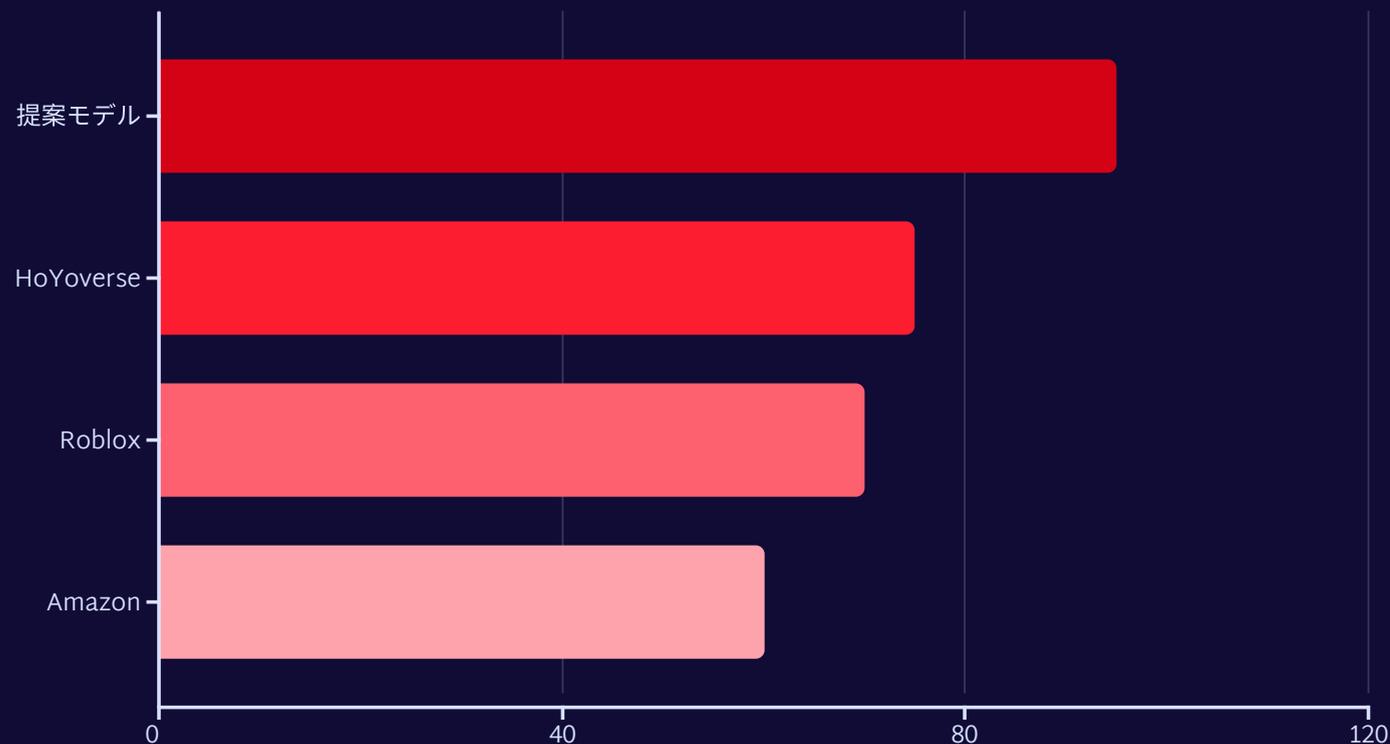
IPの「コア」を学習した生成AIツールと権利管理基盤で安全かつ迅速な創造環境を構築



## 対価と収益

プラットフォーム内通貨、手数料、IPライセンス自動徴収、プレミアム会員費

# 競合比較と優位性



## 圧倒的な差別化要因

- **HoYoverse:** 供給者に留まる。提案モデルはファンを共創者に変える
- **Amazon:** 強力なIPコンテンツを持たない。IP知能がなければ体験が成立しない状況を創出
- **Roblox:** 品質と物語の深みに欠ける。AAA級IPの重力で大人のファン層を包含

# バンダイナムコ独自の競争優位性



## IPアセットの知能化

50年分の設定資料、3Dモデル、物語の文法。世界で唯一の高品質な教師データ



## フィジカルとデジタルの融合

ガンプラやアミューズメント施設という強力なリアル接点。デジタル作品を即座に3Dプリント商品化

- この「歴史の厚み」をデジタルな「知能」に変換することが、最大の参入障壁となります。GAFAのような純粋なデジタル企業には決して真似できない独自の体験価値を創出できます。



# 経営層へのメッセージ

「良い作品を作ればファンがつく」というルールは、既に過去のもので。これからの時代、勝者となるのは「最も多くのファンの熱量を、IPという触媒を用いてデータへと変換し、自己増幅させる場を創った者」です。

バンダイナムコには、世界で最も愛されている「IP」という宝物があります。この宝物を城の中に閉じ込めるのではなく、世界中のファンの想像力という大海へと解放し、共創のプラットフォームを構築する「勇気あるルールチェンジ」を決断すべき時です。

「Fun for All into the Future」を真に実現するために、単なるエンタテインメント企業から、**人類の想像力をIPとAIで拡張する、智能化ソフトウェア企業へと生まれ変わらしましょう。**